

2026年 1 月 7 日

株式会社 キューデン・インターナショナル

九州電力株式会社

米国ペンシルベニア州で太陽光発電事業に参画しました

ー 米国における再生可能エネルギー事業をさらに加速 ー

九電グループである株式会社キューデン・インターナショナルは、三菱重工グループの米国再生可能エネルギー開発事業者である Oriden LLC（以下、Oriden 社）との間で、Oriden 社が開発する太陽光発電プロジェクトの 100%持分取得に関する契約を、東京センチュリー株式会社とともに締結いたしました。

本件は、九電グループにとって米国で 2 件目の再エネ事業への出資であり、今回の参画により海外発電事業の持分出力は約 279 万 kW^(注1) となります。本事業への参画により、九電グループは米国における再エネ事業の展開を一層加速してまいります。

九電グループは、これまで培った高い技術力や豊富な経験を活用し、世界各国で更なる事業展開を進め、「九電グループ経営ビジョン 2035」及び「九電グループ カーボンニュートラルビジョン 2050」の実現に向けて、引き続き挑戦してまいります。

[参考] 事業概要

所在地	米国 ペンシルベニア州
設備概要	約 20MW
株主構成	キューデン・インターナショナル 50% 東京センチュリー 50%
売電先	フィラデルフィアエネルギー局へ 20 年間売電
商業運転開始時期	2026 年 10 月（予定）

(注 1) 営業運転前の参画案件を含んだ値

以 上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九電グループの思いです。